

## 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立登美丘西小学校

校長 藤井 広美

中学校区におけるめざす子ども像  
多様性を認め合い自立的・主体的に行動できる子

## 令和5年度 重点目標

- ①人権教育を核として、児童理解に努め、きめ細やかな支援と全員参加の授業を工夫して行う。②一人ひとりが認められ、どの子ども安心して学び、居場所と出番のある支えあえる集団づくりを行う  
③ICTを効果的に活用し、自ら考え学び仲間とともに学ぶことを通して、総合的な学力向上を図る。④地域人材の活用、家庭学習の定着、自主学習の促進、体力向上への取組等、保護者・地域と連携し、地域協働学校をめざす。

## 確かな学びの現状

・「全国学力調査」や「すくすくウォッチ」の結果から、基礎学力はある程度定着しているが、思考力を働かせたり、複数の資料を関連付けて考えたりする問題に課題がある。  
・学習のまとめをするときに、子どもたちが自らの言葉でまとめを作り出せるような授業の工夫が必要である。  
・新たに改訂した「5つの学習規律」を全職員が共通理解し、学習の準備や学習に向かう態度の育成を徹底していく必要がある。  
・自主学習や家庭学習の習慣化に向けて、宿題の出し方等にも工夫が必要である。  
・学習面等において、配慮の必要な児童が多く在籍しており、通常学級における個別支援、ユニバーサルデザインによる授業づくり、ICT機器の効果的な活用が今後ますます重要となってくる。

## 豊かな心・健やかな体の現状

・学校教育アンケートにおいて「自分のよいところについて考えようとしている」の項目での肯定評価が78%と、8割を下回っており、自己肯定感の低い傾向がみられる。  
・学校教育アンケートにおいて「自分は学校へ行くのが楽しい」の項目で、否定的な回答をしている児童が全体の15%程度いる。一人ひとりの児童にとって、学校や学級が安心できる居場所となるように細やかに対応していく必要がある。  
・ほとんどの児童が挨拶を返すことができる。また、相手の名前を呼んでから挨拶をしたり、挨拶の後に一言つづけたりできる児童も増えてきている。しかし、自分から先に挨拶をすることができない児童は、まだ半数に満たない。  
・ここ数年、児童の体力が低下傾向にある。体育の授業やその他の時間でも体力の向上がはかれるような取り組みを進めていく必要がある。

| 大項目        | 中項目                  | 具体目標                                                                         | 具体的な取組<br>(●重点とする取組 ★中学校区での取組)                                                                                                                   | 判断基準<br>(評価のものさし)                                                                          | 評価方法                                      | 評価時期                      | 進捗確認<br>(～10月)      | 達成状況(年度末)           |                     |
|------------|----------------------|------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|---------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
|            |                      |                                                                              |                                                                                                                                                  |                                                                                            |                                           |                           |                     | 自己評価                | 学校関係者評価             |
| 確かな学び      | 教科<br>学力<br>向上       | ・つけない力を明確にした授業改善<br>・学ぶ喜びのある授業をつくるための指導の徹底<br>・ワークショップ型を取り入れた校内研修の組織的・継続的な実施 | ★授業に対話的活動を積極的に取り入れ、思考力・判断力・表現力を育成する。<br>★学習課題の確認、思考の整理、変容の確認等を毎時間1ページ以上ノートを使って思考する学習方法の徹底。<br><br>●校内授業研究と学校内公開授業等を通して、教員が学び続け、共に高めあいながら授業改善を図る。 | 全学級が実施できている。<br>堺市学力等実態調査において、「話し合いの場面が多い」「考えを書く場面が多い」の項目で肯定的評価80%以上                       | 状態について協議<br>学校教育アンケート                     | 学期毎                       | ◎                   | ◎                   | ◎                   |
|            | 学びの<br>基礎<br>力<br>向上 | ・協働的な学びを通して進んで自分の考えを膨らませる児童の育成<br>・5つの学習規律の徹底<br>・自律的な学びを育成する家庭学習習慣の定着       | ●ICT機器の活用など、自分の考えを表現する機会を積極的に設ける。<br><br>・5つの学習規律の取り組みの徹底<br><br>・家庭学習の習慣化<br>●各学年で家庭学習の時間(目安)を設定し、自主学習に積極的に取り組む。                                | 全教員が実施できている<br><br>「返事」の項目で80%<br><br>80%以上の児童が、1週間に1回以上取り組む                               | 状態について協議<br><br>学校教育アンケート<br><br>状態について協議 | 学期毎<br><br>年度末<br><br>学期毎 | ○<br><br>○<br><br>○ | ○<br><br>○<br><br>◎ | ○<br><br>○<br><br>○ |
| 豊かな心・健やかな体 | 心の育成                 | ・一人一人の子どもが安心して活動できる居場所づくりとともに自尊感情を高め、お互いを認め合う仲間づくりに取り組み、しなやかな心を育てる           | ・児童が笑顔で登下校し、気持ちよく過ごすことができる学校づくりをすすめる。<br><br>相手の思いを知り、認め合う学習集団の中で、自己肯定感や自尊感情を醸成させる。<br><br>・地域の行事等への積極的な参加を促し、人との接する機会を増やし、あいさつや返事の徹底を図る。        | 「学校が楽しい」の項目で肯定評価90%以上<br><br>「自分にはよいところがある」の項目で肯定評価80%以上<br><br>「あいさつをしていますか」の項目で肯定評価80%以上 | 学校教育アンケート<br>学校教育アンケート<br>学校教育アンケート       | 学年末<br>学年末<br>学年末         | ○<br>○<br>○         | ○<br>○<br>◎         | ○<br>○<br>◎         |
|            | 体力の向上                | ・系統立てた体育科の指導を行うとともに、運動する楽しさや喜びを感じられる環境を整える。                                  | ・堺市学校体育指導の手引きの活用<br>・体づくり運動の有効的な活用<br><br>●登西っ子チャレンジと称し、長縄もしくは短縄に学校全体で取り組み。<br>・体育委員会を中心に体力向上をはかる取り組みをする。                                        | 全教職員が実施できている<br><br>登西っ子チャレンジの実施<br>チャレンジランキングへの参加                                         | 状況を報告<br><br>実践を協議                        | 学期毎<br><br>年度末            | ○<br><br>○          | ◎<br><br>◎          | ◎<br><br>◎          |
| 地域協働       | 信頼される学校              | ・学校や児童の様子を積極的に発信し、開かれた学校を目指す。<br>・保護者、地域と連携して児童の健やかな成長を保障する。                 | ★学校ホームページや校報等で情報を発信し、教育活動の周知をはかる。<br><br>★保護者や地域の人材を活用し、地域とともに歩む学校づくりを推進する。                                                                      | 「校報やホームページなどで適切に情報を知らせている」の項目で肯定評価90%以上<br><br>学習活動や行事において、ゲストティーチャーの参画を増やす。               | 学校教育アンケート<br><br>状態について協議                 | 年度末<br><br>学期毎            | ○<br><br>◎          | ◎<br><br>◎          | ◎<br><br>◎          |

校長より(年度末)教えられたことを学ぶ授業から、児童が自ら課題を見つけ、主体的に学んでいく授業をめざし、授業改善に努めてきた。学校教育アンケートにおいて、「自分は授業を楽しんでいる」という項目に変更し、児童の意識調査を行ったが、肯定的意見が多かった。さらに児童自ら学んでいく授業スタイルへとICTを積極的に活用しながら、それぞれの課題に向かって学び、その中で友達と協働的に学び合う授業をめざして授業改善を進めていきたい。また、児童がどんどん探求活動をしていくことを推奨し、地域社会とかかわり、社会に働きかけていく活動を通し、認められ、褒められる経験を通し、自尊感情や自己有用感を育んでいきたいと考える。体力向上に向けて一定の成果を上げ楽しんで運動する喜びを味わう児童が増えたことを評価する。

学校関係者評価者から(年度末)  
「学校で楽しく過ごせる児童が一人でも多くなることを願っています。先生方の自己評価でも◎が大きくなっており、目標に対する達成感を感じておられるのではないかと思います。能登半島地震の募金活動の件では、6年生が自分たちで考え行動・実行する力が素晴らしいと感じました。これから人思いやる態度や心を育てていってほしいです。」